



飯南町消防団
新団長を任命

1月1日(祝)

12月31日付けで8年間団長を務められた澤田秀樹さん(上来島)が退任し、1月1日付けで新団長に深石賢一さん(奥畑)を任命しました。
深石さんは昭和55年に頓原町消防団に入団。平成25年から飯南町消防団の副団長を務めてこられました。
深石さんは「団員の育成と確保を進め、町民の皆さんの安心安全な生活に貢献していきます」と話していました。



10年後の自分や飯南町の姿を語り合う参加者。テーブルごとにさまざまなアイデアが

まちづくり座談会
を開催

町ホームページ



11月下旬から12月中旬にかけて、町内5つの会場でまちづくり座談会「飯南ミライばなし」を開催しました。
今年度は、次期総合振興計画の策定に向けたワークショップや、参加者と町長による意見交換を実施。来島会場には、飯南高校生15人も参加。町長や教育長への提言もありました
各会場での意見交換の内容は、町ホームページで紹介しています。



1月11日に陶山代表取締役(右)に感謝状贈呈



同社ホームページ

昭和37年に松江市に創立。令和2年2月には、本町に営業所を開設し、地域に密着した建設コンサルタントとして、道路改良工事や災害復旧工事など、速やかに対応する。道路・河川・上下水道など国及び地方公共団体の技術的パートナーとして、また地域に密着した総合建設コンサルタントとして社会資本整備の一翼を担っている企業。常に技術の向上・研究を行い、建設コンサルタントとして社会的責任を果たしている。

企業版ふるさと納税企業紹介

●山陰開発コンサルタント(株)
代表取締役 陶山 勤
寄附額 150万円

●(株)トワエンジニアリング
代表取締役 佐藤 讓
寄附額 100万円



1月12日に佐藤代表取締役(右)に感謝状贈呈



同社ホームページ

昭和62年に創業。令和3年3月には飯南営業所を開設し、本町の災害復旧工事も迅速に対応する。人の和を大切にし、地域社会の明日を見つめ、無限の可能性にチャレンジする総合建設コンサルタント。
「他社がまねできないことをやる」をモットーに求められる技術者の集団であり続けられるため、より高い品質の確保と最新技術への挑戦に強いこだわりを持つ。
社長を筆頭に有給休暇取得などワークライフバランスの充実に取り組んでいる。



今後もJ-クレジット販売をとおして、森林整備を進めます

J-クレジット・
カーボンオフセット
証明書授与式

12月13日(水)

SDGsの達成や脱炭素経営に取り組まれる町内5つの事業者とJ-クレジットの売買契約を締結し、証明書を授与しました。
本町は、森林の整備を進める中で、間伐により整備された町有林の二酸化炭素の吸収量をクレジット化し、企業・団体への販売を行っています。
【企業名※購入順】
・(株)島根産業
・有渡辺建設
・後藤建設(株)
・森島建設(株)
・(株)藤原建設



浜田市で開催された表彰式に出席されました

統計調査員表彰
景山泰治さんに
知事感謝状

12月15日(金)

統計調査員としての功績により、景山泰治さん(上来島)に知事感謝状が授与されました。
景山さんは平成25年から6年度統計調査員として各種統計調査に従事。統計調査の重要性を認識し、意欲的な取組姿勢と正確な業務が評価されました。
景山さんは「この度、知事より感謝状をいただいたこと、大変うれしく思います。地域の皆さんのご理解とご協力に感謝しています」と話していました。

「余白あります。」
オリジナルグッズ
コンテスト表彰式

12月26日(火)



町長から表彰状を授与(左:田中さん、右:三島さん)

本町のブランドメッセージ「余白あります。」やそのロゴマークを題材にしたグッズコンテストを開催。この度、入賞作品が決定し、表彰式を行いました。
●優秀賞(2点)
「余白あります。美白になりませう」田中綾野さん(上赤名)
「熊鈴三島亜美さん(佐見) 入賞作品は、今後、お土産などで購入してもらえよう、考案者のアイデアを活かしながら、商品化を目指します。



笑い声も聞こえる和やかな雰囲気で見聞交換

福祉施設協議会と
意見交換

12月27日(水)

飯南町福祉施設協議会主催の研修会に町長が参加し、同会の事業所に勤務する外国人と意見交換を行いました。
研修会には、特定技能実習生5人と今後町内の福祉事業所に勤務予定の外国人学生1人が参加。普段の生活、仕事での困りごとや今後の目標などを町長や町職員と話し合いました。
今後は、外国人労働者の増加に対応するため、このような意見交換を定期的に行っていきます。